

第2章

子育て家庭を取り巻く環境

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

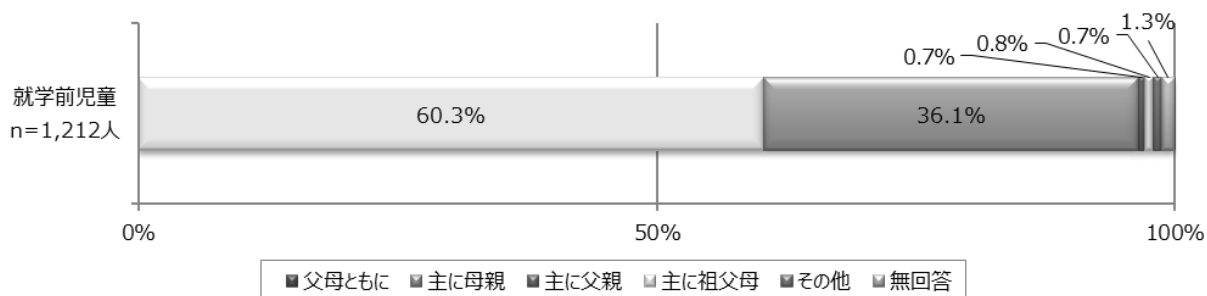
1 子育て環境について

(1) 1. 就学前児童の主な保育者と親族等協力者の状況

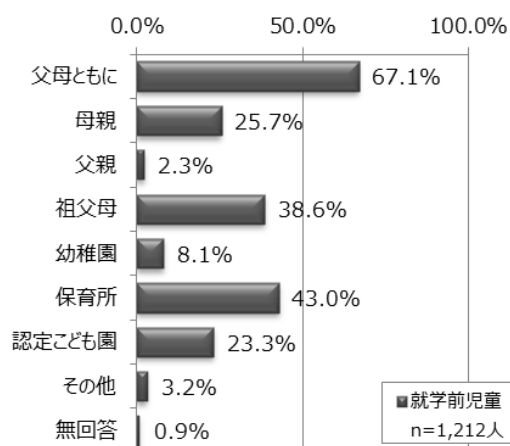
就学前児童の主な保護者の状況を見ると、「父母ともに」（60.3%）と「主に母親」（36.1%）が大半を占めています。

こうした状況の中で、日常的に子育てに関わっている方（施設含む）は、「父母ともに」（67.1%）、「保育所」（43.0%）、「祖父母」（38.6%）、「母親」（25.7%）の順になっています。また、子育てに影響を与える環境は、「家庭」（93.2%）が最も多く、次いで「保育所」（50.7%）、「認定こども園」（27.6%）、「地域」（21.8%）の順になっています。

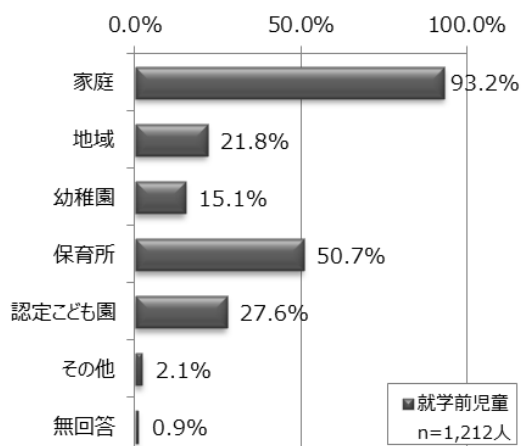
問6 主な保護者の状況



問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）



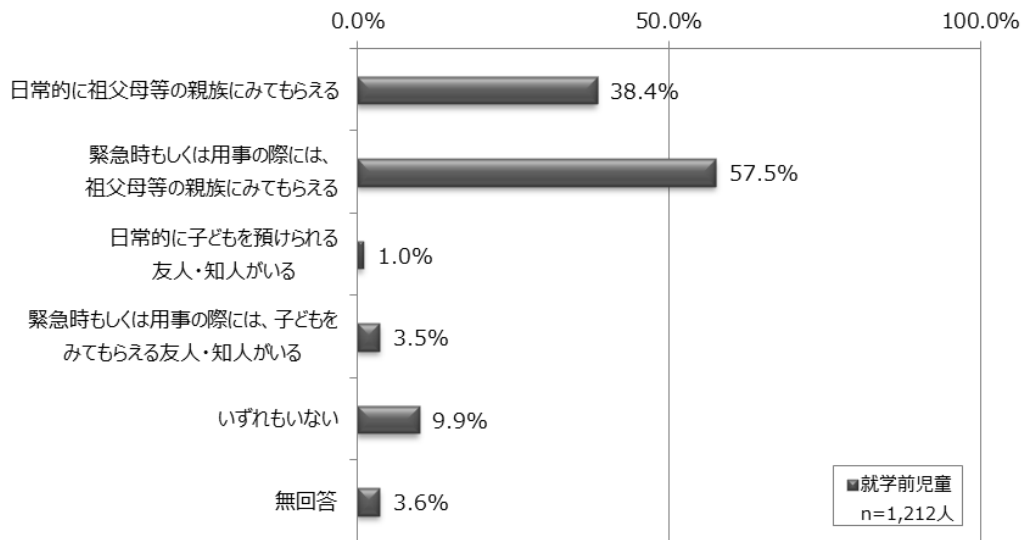
問8 子育てに影響を与える環境



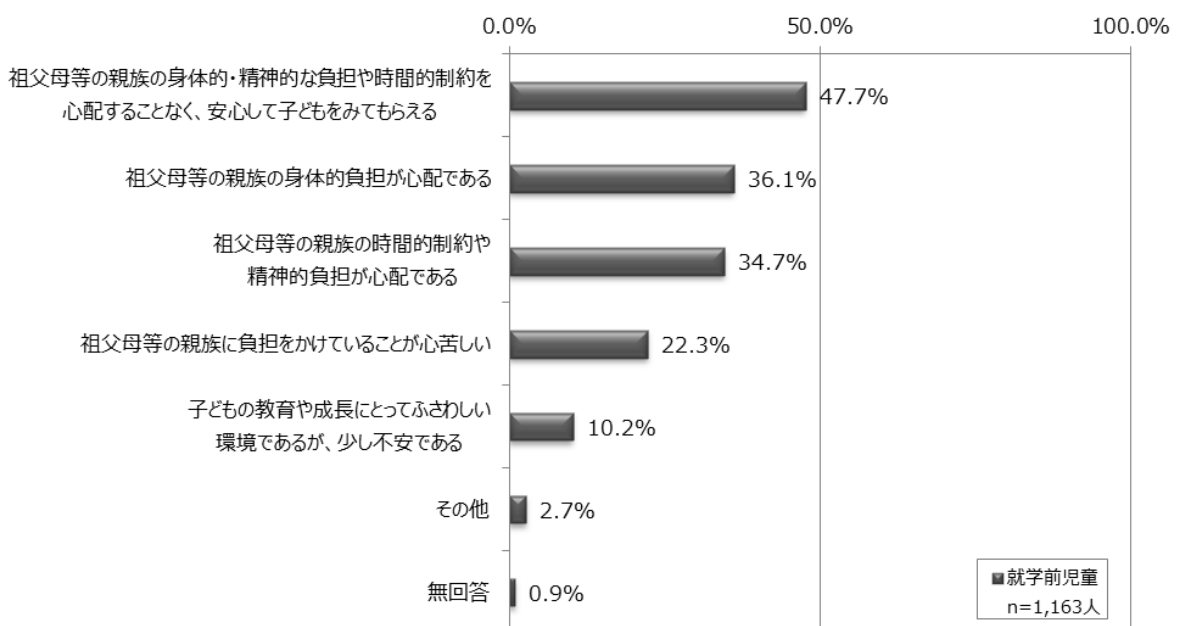
就学前児童の主な親族等協力者の状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(57.5%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(38.4%)の順になっています。

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(47.7%)がいる一方で、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもをみてもらっている方(70.8%)も多くいます。また、友人・知人に預かってもらうことへの考え方に対して、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(48.0%)がいる一方で、友人・知人の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもをみてもらっている方(56.0%)も多くいます。

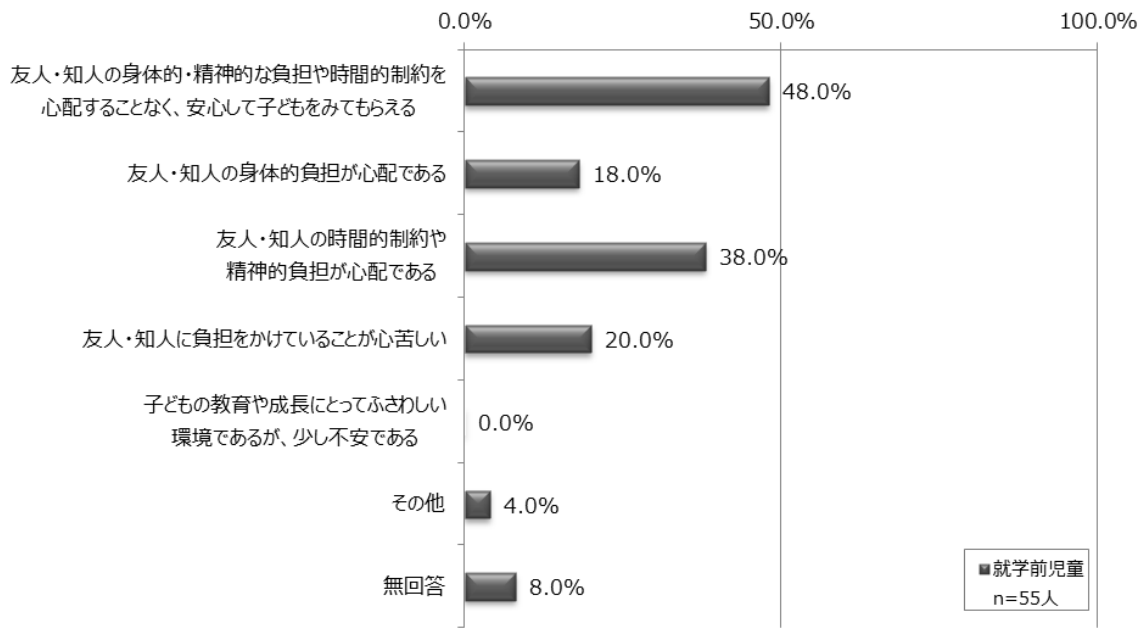
問9 主な親族等協力者の状況



問9-1 祖父母などの親族に子どもをみてもらうことへの考え



問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え

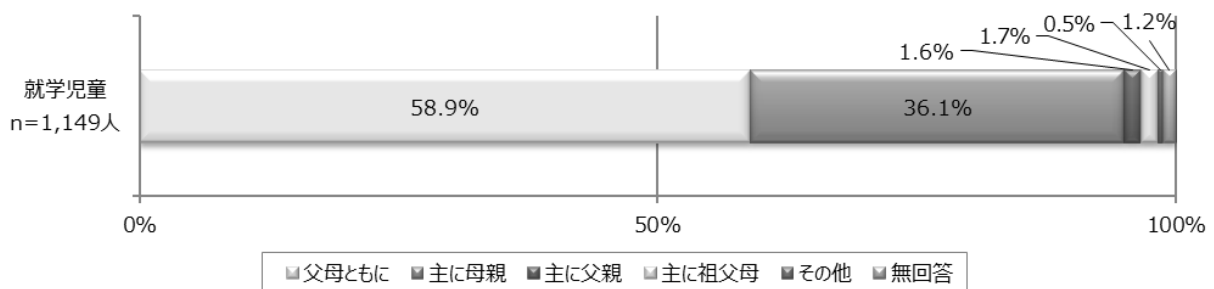


2. 就学児童の主な保育者と親族等協力者の状況

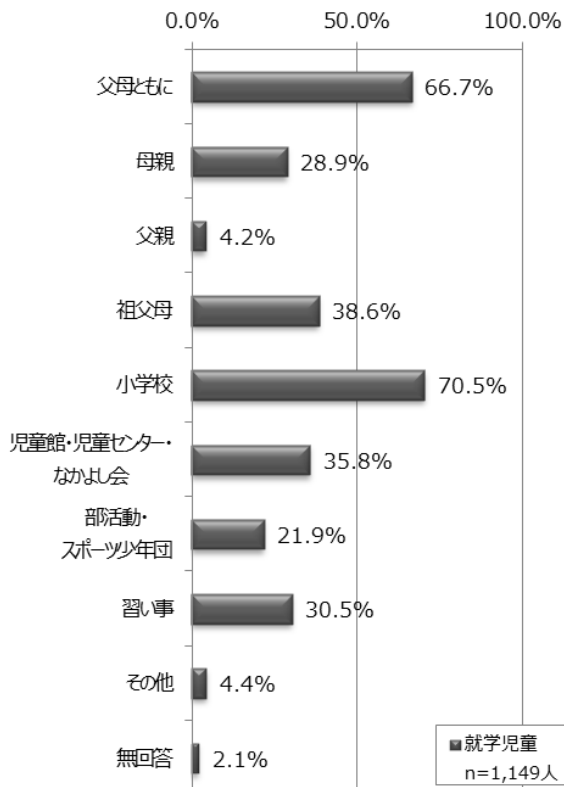
就学児童の主な保護者の状況を見ると、「父母ともに」（58.9%）と「主に母親」（36.1%）が大半を占めています。

こうした状況の中で、日常的に子育てに関わっている方（施設含む）は、「小学校」（70.5%）、「父母ともに」（66.7%）、「祖父母」（38.6%）、「児童館・児童センター・なかよし会」（35.8%）の順になっています。また、子育てに影響を与える環境は、「家庭」（91.3%）が最も多く、次いで「小学校」（84.6%）、「地域」（23.8%）の順になっています。

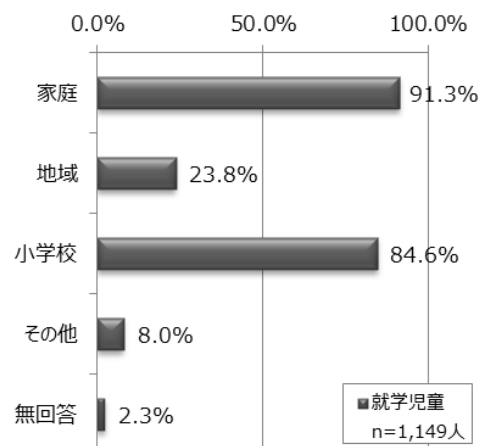
問6 主な保護者の状況



問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）



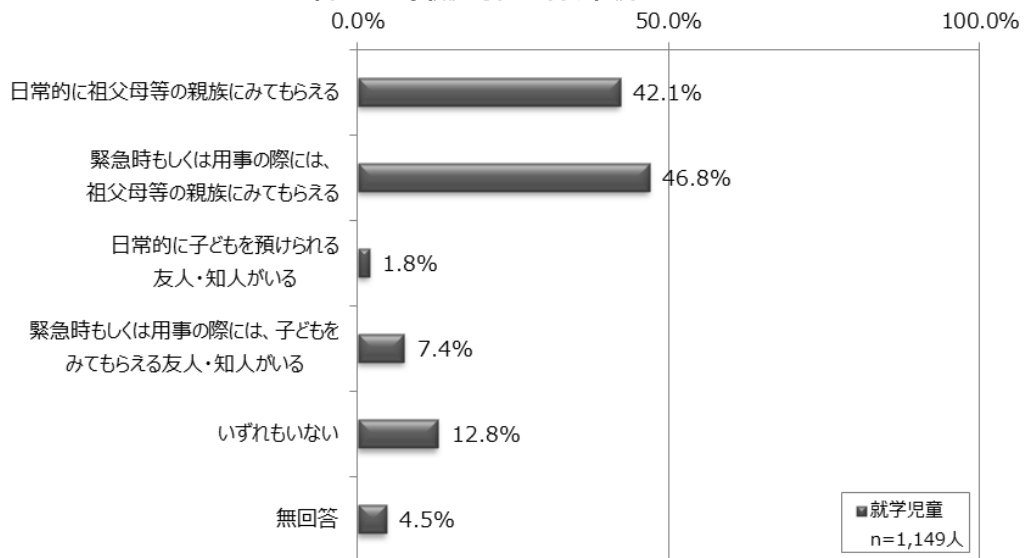
問8 子育てに影響を与える環境



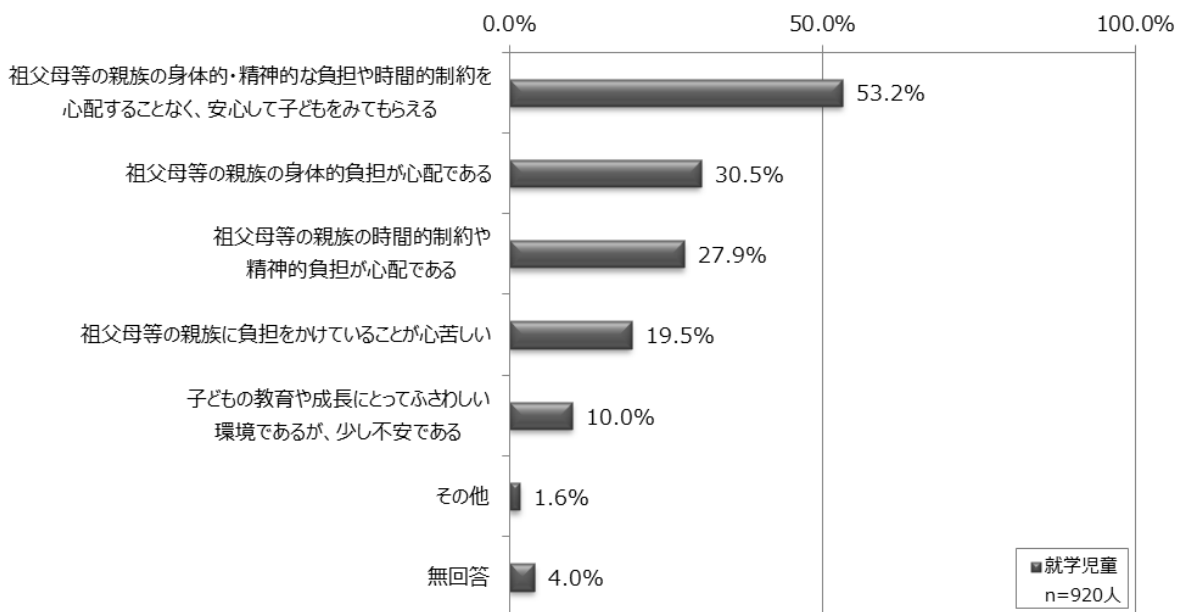
就学児童の主な親族等協力者の状況を見ると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(46.8%) が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(42.1%) の順になっています。

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(53.2%) がいる一方で、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもをみてもらっている方(58.4%) も多くいます。また、友人・知人に預かってもらうことへの考え方に対して、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(46.4%) がいる一方で、友人・知人の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもをみてもらっている方(37.2%) もいます。

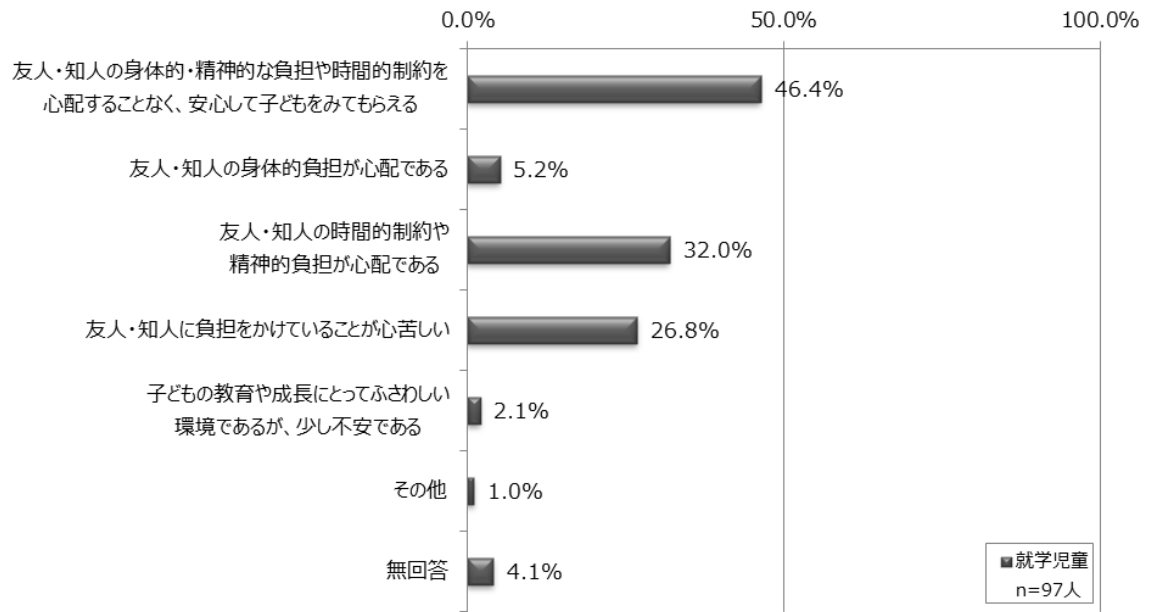
問9 主な親族等協力者の状況



問9-1 祖父母などの親族に子どもをみてもらうことへの考え



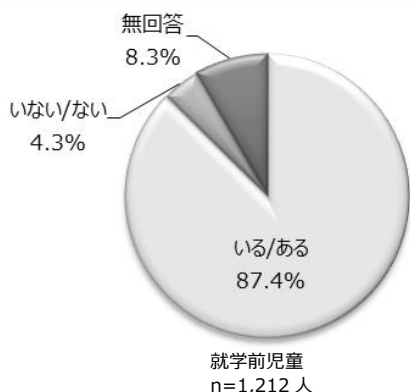
問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



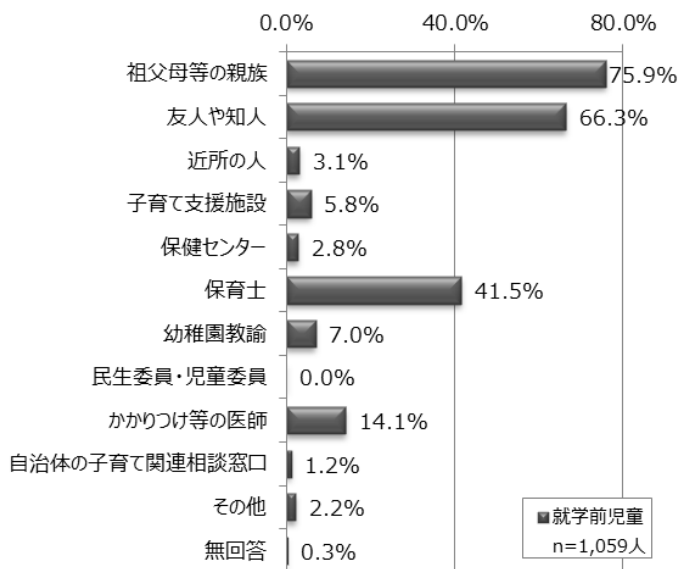
(2) 1. 就学前児童の子育てに関する相談者の状況

就学前児童の気軽に相談できる人の有無をみると「いる／ある」(87.4%)が最も多くなっています。気軽にできる相談者の状況は、「祖父母等の親族」(75.9%)が最も多くなっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



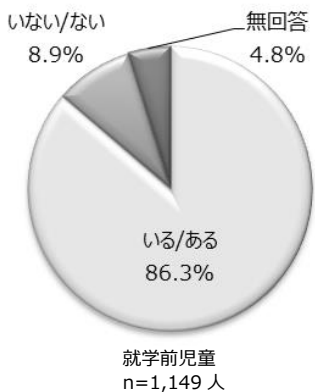
問 10-1 気軽に相談できる相談者の状況



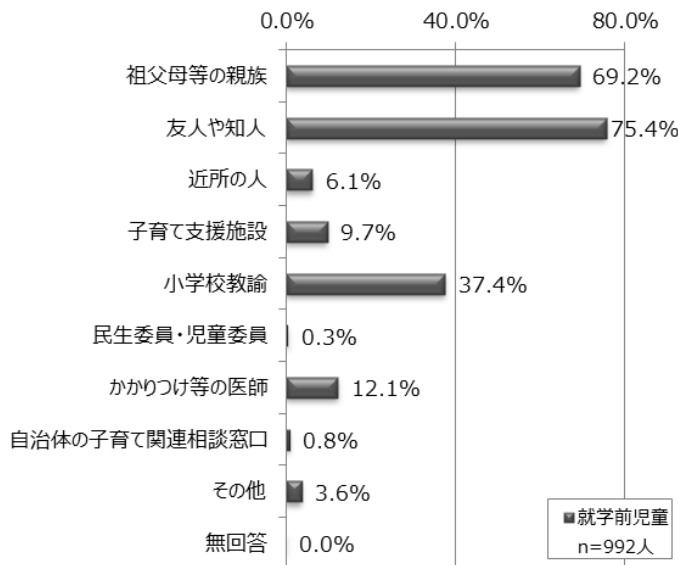
2. 就学児童の子育てに関する相談者の状況

就学児童の気軽に相談できる人の有無をみると「いる／ある」(86.3%)が最も多くなっています。気軽にできる相談者の状況は、「友人や知人」(75.4%)が最も多くなっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



問 10-1 気軽に相談できる相談者の状況

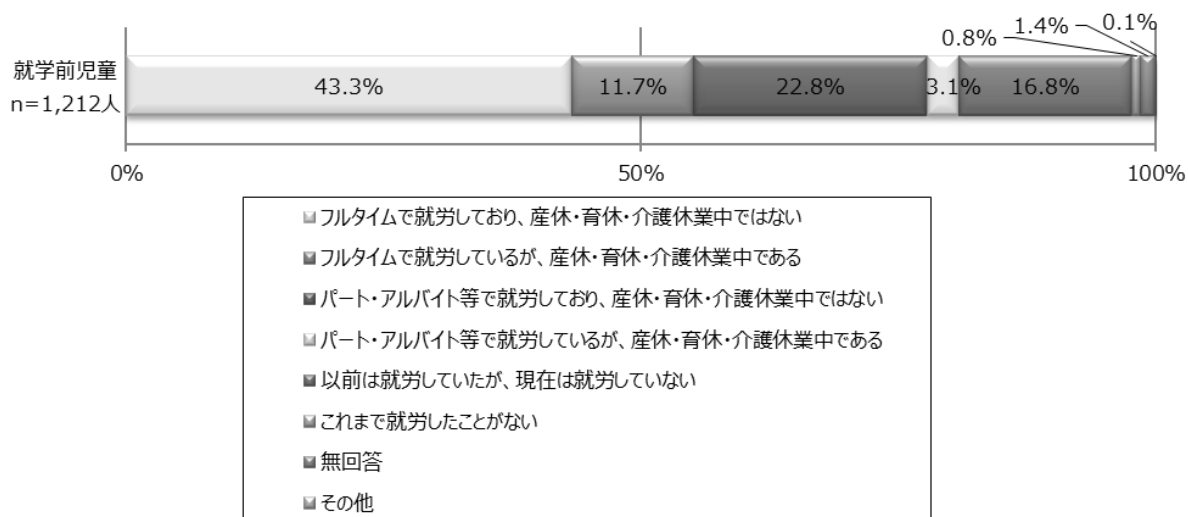


2 主な保育者とその就労状況

(1) 1. 就学前児童の母親の就労状況

就学前児童の母親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(43.3%)、をはじめ7割近くが就労し、現在「産休・育休・介護休業中」の方が14.8%います。

問12(1) 母親の就労状況

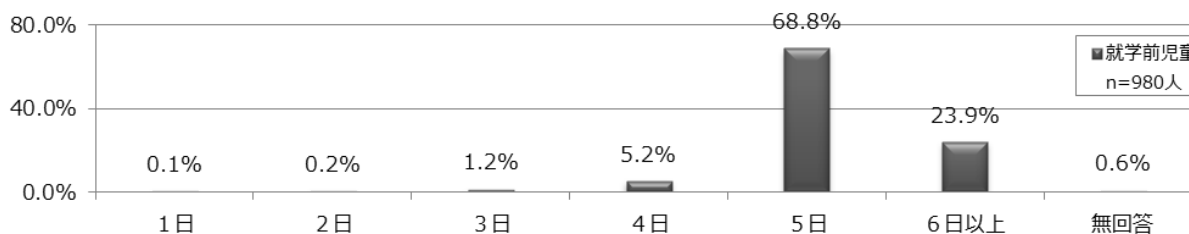


就学前児童の母親の就労日数・就労時間をみると、「5日」(68.8%)、「8-9時間」(53.2%)、が最も多く、「6日以上」が23.9%います。

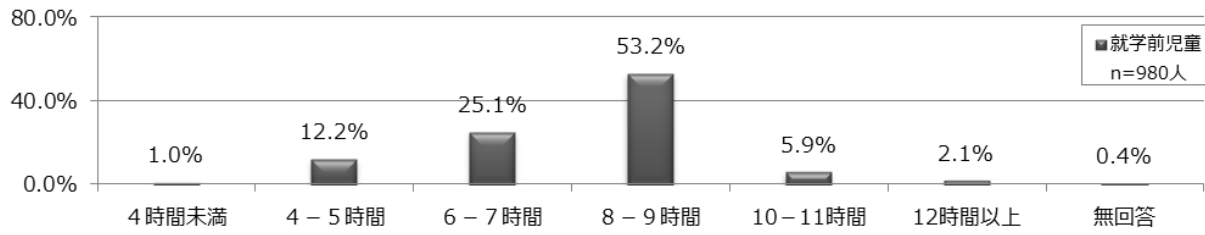
母親の出勤時間は、「7時台」(43.6%)、「8時台」(37.7%)、「9時台」(10.1%)の順になっています。

また帰宅時間は、「18-19時台」(53.9%)、「16-17時台」(28.8%)の順に多く、20時以降の帰宅は3.1%になっています。

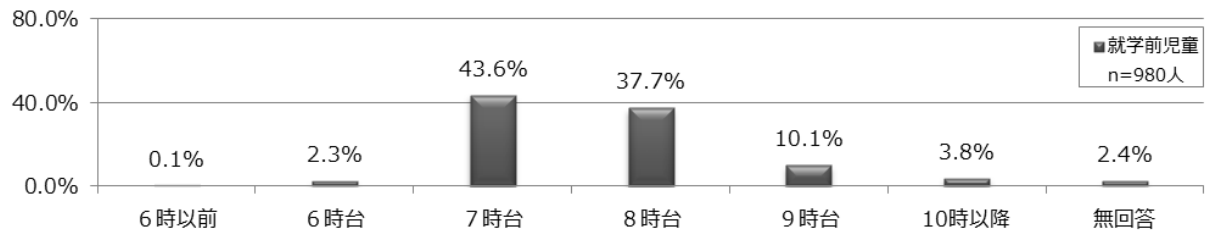
問12(1)-1 母親の就労日数(1週当たり)



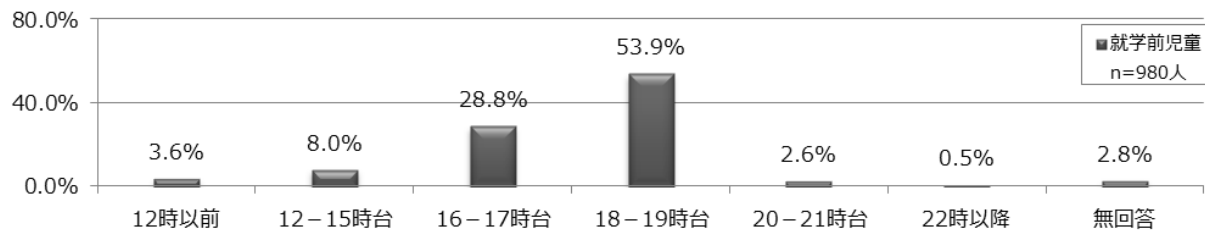
問12(1)-1 母親の就労時間(1日当たり)



問12(1)-2 母親の出勤時間

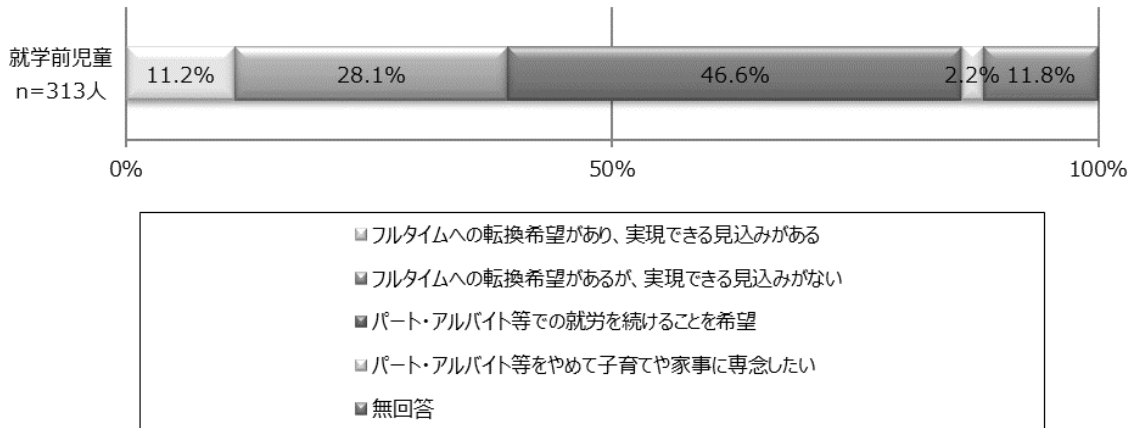


問12(1)-2 母親の帰宅時間



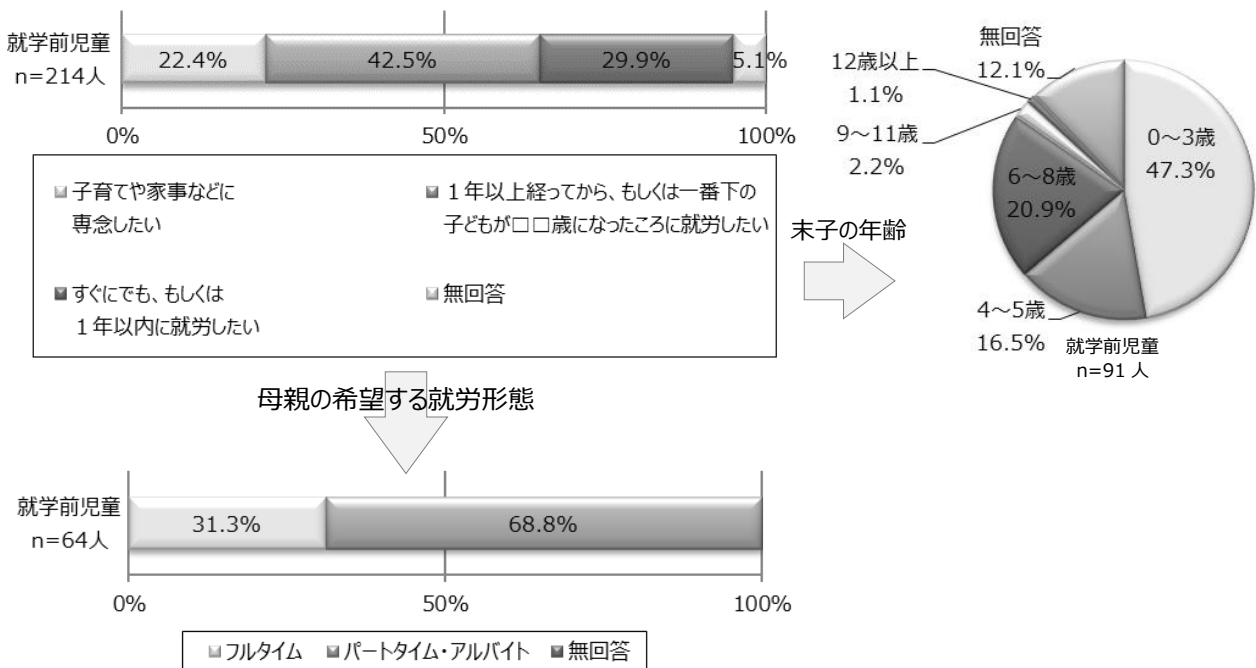
就学前児童の母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望する方は、39.3%いますが、実現できる見込みのある方は、11.2%と1割強に留まっています。

問 13 (1) 母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向



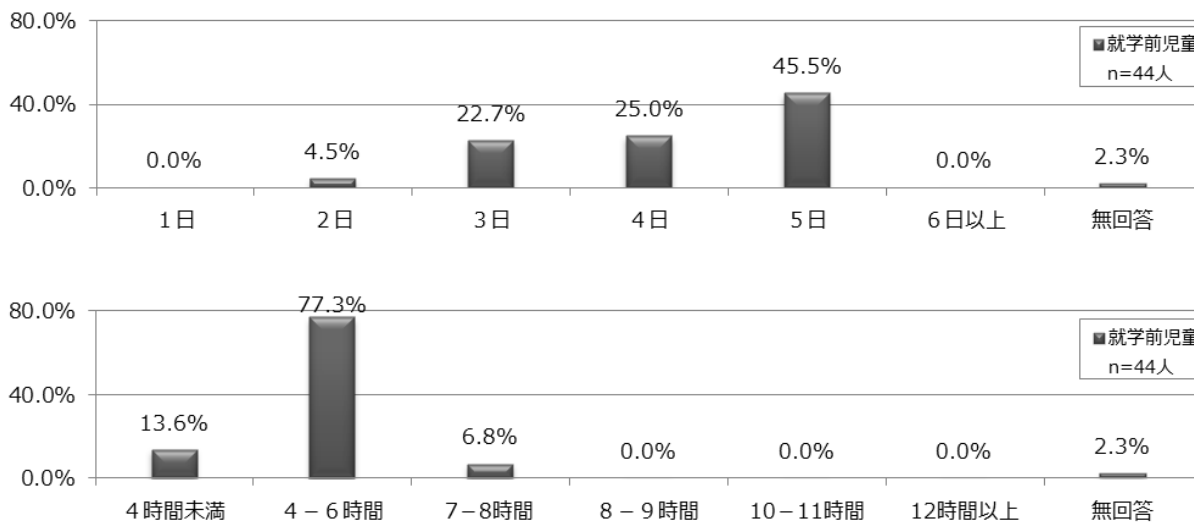
就学前児童の就労していない母親に対して今後の就労希望をみると、就労したい方が 72.4%となっており、その内訳は「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(42.5%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.9%)、希望する就労形態は「パートタイム・アルバイト等」(68.8%)、「フルタイム」(31.3%)であり、就労時期となる子どもの年齢については「0～3歳」(47.3%)、「6～8歳」(20.9%)、「4～5歳」(16.5%)の順でした。

問 14 (1) 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



就学前児童の母親の希望する就労日数と就労時間をみると、就労日数「5日」(45.5%)、「4日」(25.0%)、「3日」(22.7%)の順、就労時間「4-6時間」(77.3%)、「4時間未満」(13.6%)の順になっています。

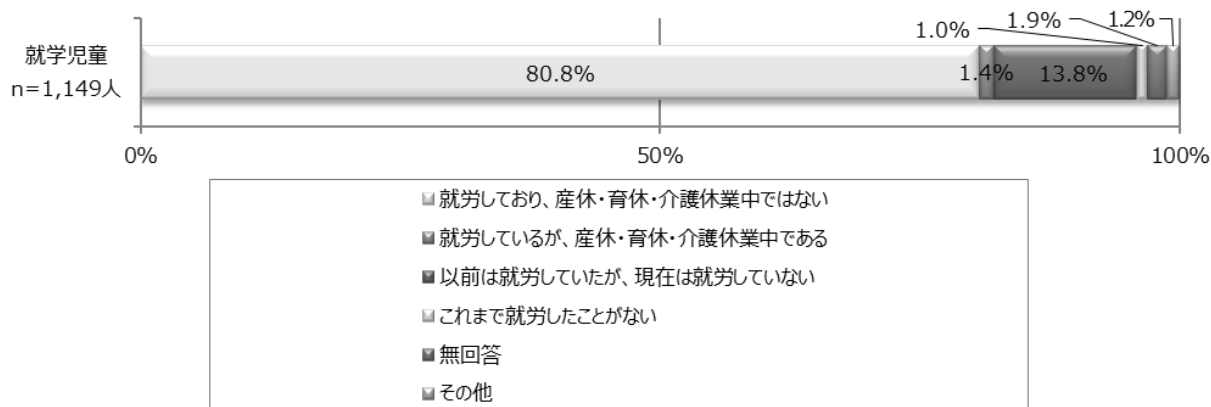
問14(1) 母親の希望就労日数(1週当たり)と希望就労時間(1日当たり)



2. 就学児童の母親の就労状況

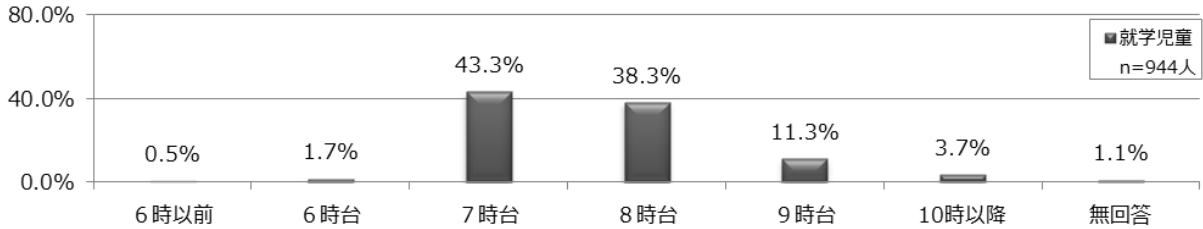
就学児童の母親の就労状況をみると、「就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(80.8%)と8割近くが就労し、現在「産休・育休・介護休業中」を含む就労していない方が16.2%います。

問12(1) 母親の就労状況

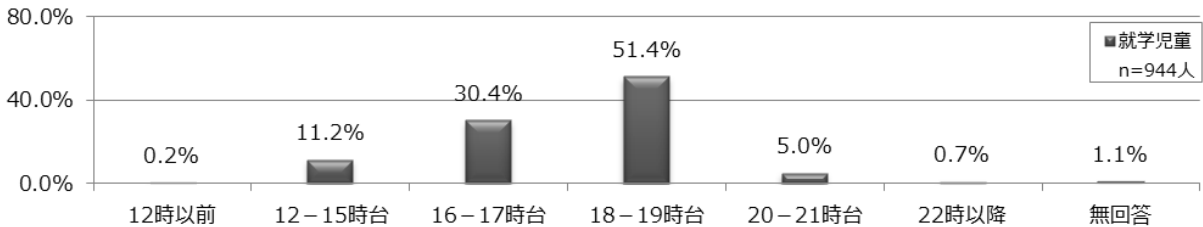


就学児童の母親の出勤時間は、「7時台」（43.3%）、「8時台」（38.3%）、「9時台」（11.3%）の順になっています。
 また帰宅時間は、「18-19時台」（51.4%）、「16-17時台」（30.4%）の順に多く、20時以降の帰宅は5.7%になっています。

問12(1)-1 母親の出勤時間

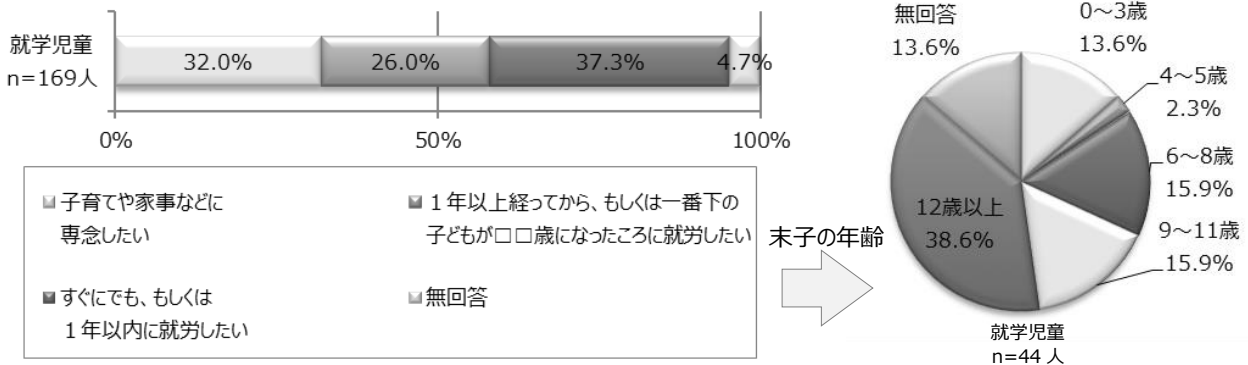


問12(1)-1 母親の帰宅時間



就学児童の就労していない母親に対して今後の就労希望をみると、就労したい方が63.3%となっており、その内訳は「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」（26.0%）、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」（37.3%）、就労時期となる子どもの年齢については「12歳以上」（38.6%）、「6～8歳」・「9～11歳」（各15.9%）、「0～3歳」（13.6%）の順でした。

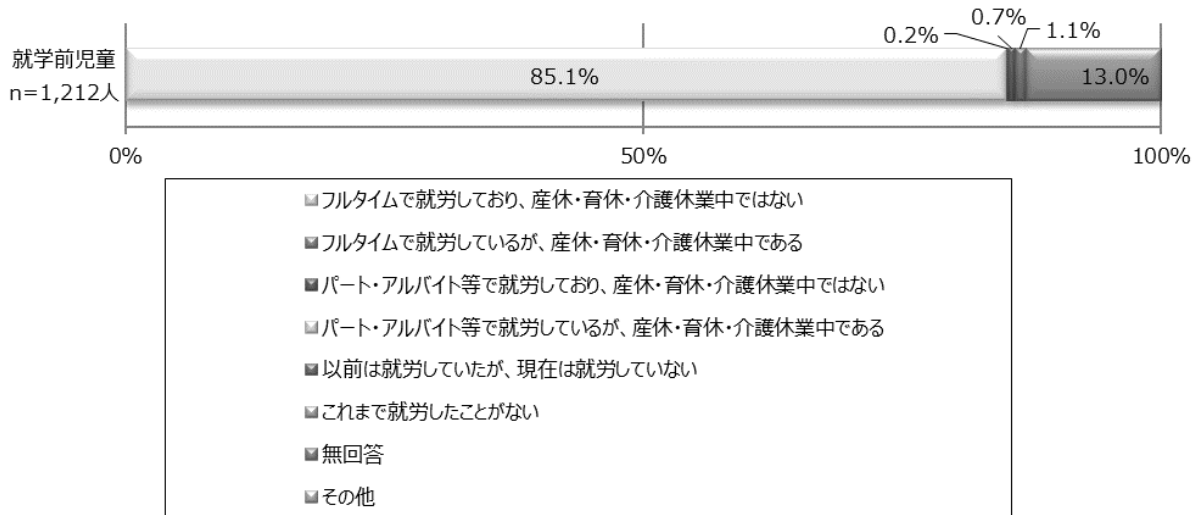
問12-1(1) 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



(2) 1. 就学前児童の父親の就労状況

就学前児童の父親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(85.1%)が最も多くなっています。

問 12 (2) 父親の就労状況

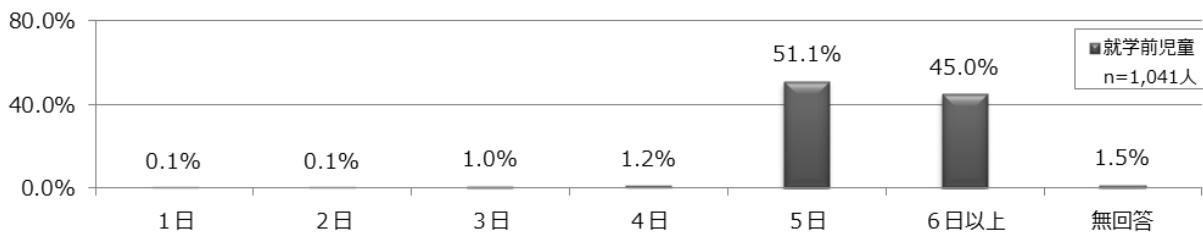


就学前児童の父親の就労日数・就労時間をみると、「5日」(51.1%)、「8-9時間」(59.0%)、が最も多く、「6日以上」(45.0%)、「10-11時間」(20.5%)、「12時間以上」(14.7%)となっています。

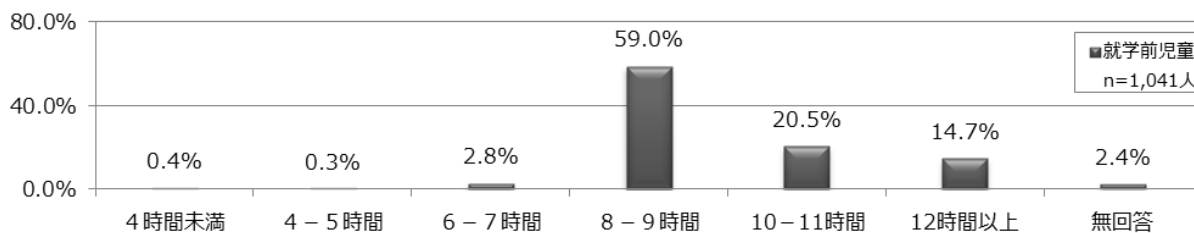
父親の出勤時間は、「7時台」(48.3%)、「8時台」(23.5%)、「6時台」(10.0%)の順になっています。

また帰宅時間は、「18-19時台」(50.0%)、「20-21時台」(22.3%)の順、22時以降の帰宅は5.3%になっています。

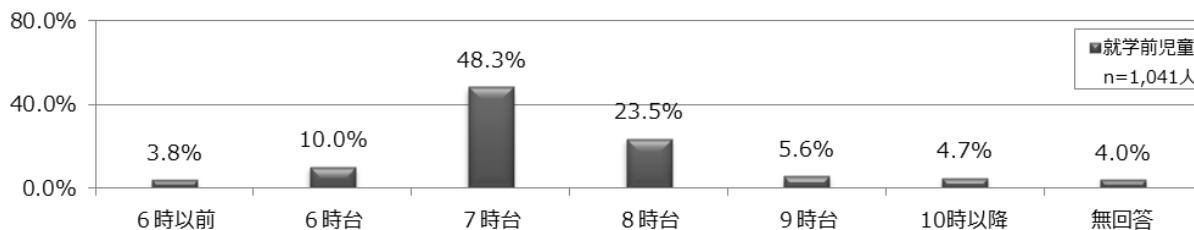
問 12 (2) - 1 父親の就労日数 (1週当たり)



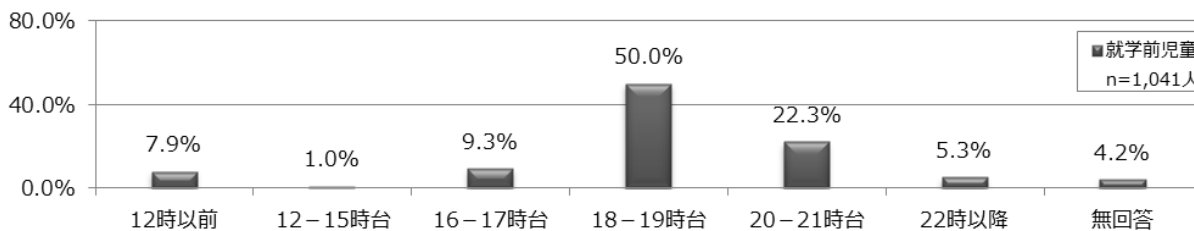
問12(2)-1 父親の就労時間(1日当たり)



問12(2)-2 父親の出勤時間

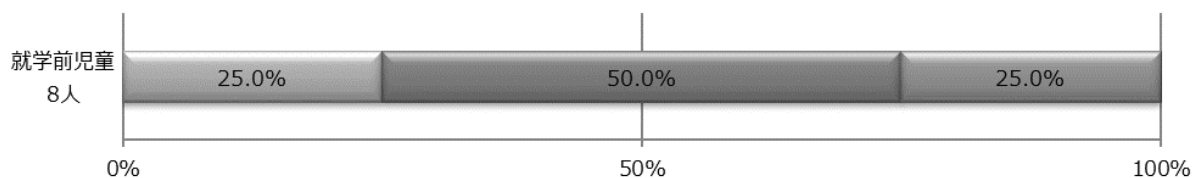


問12(2)-2 父親の帰宅時間



就学前児童の父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望する方は、25.0%いますが、実現できる見込みのある方はいませんでした。

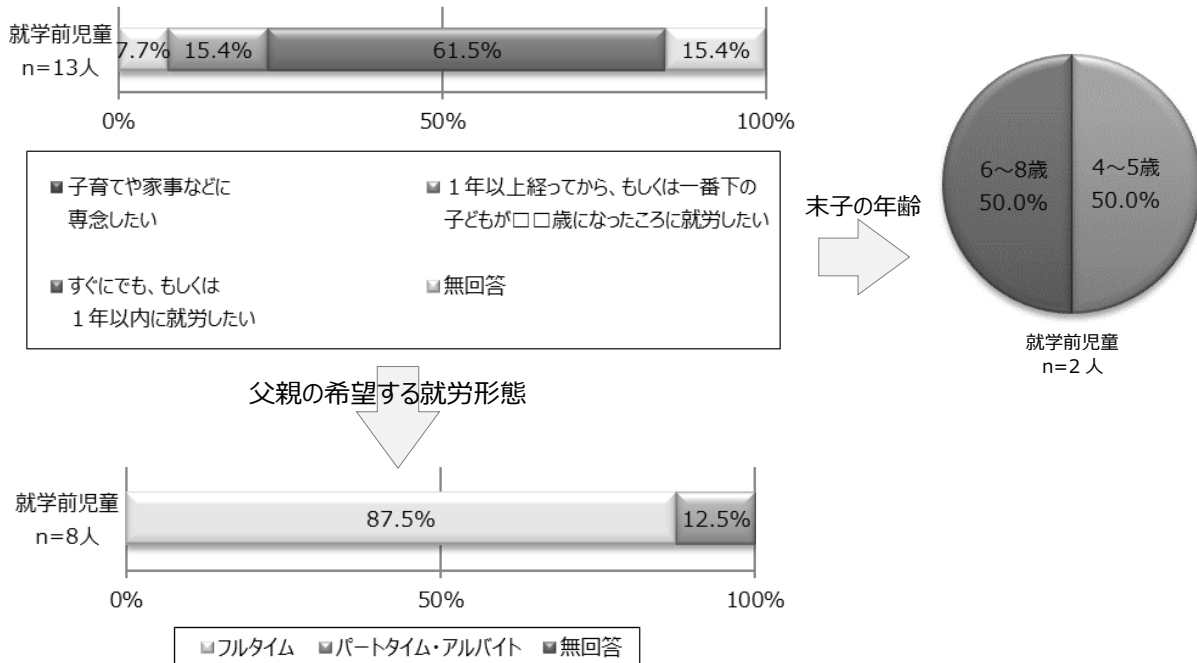
問13(2) 父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない
- パート・アルバイト等での就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

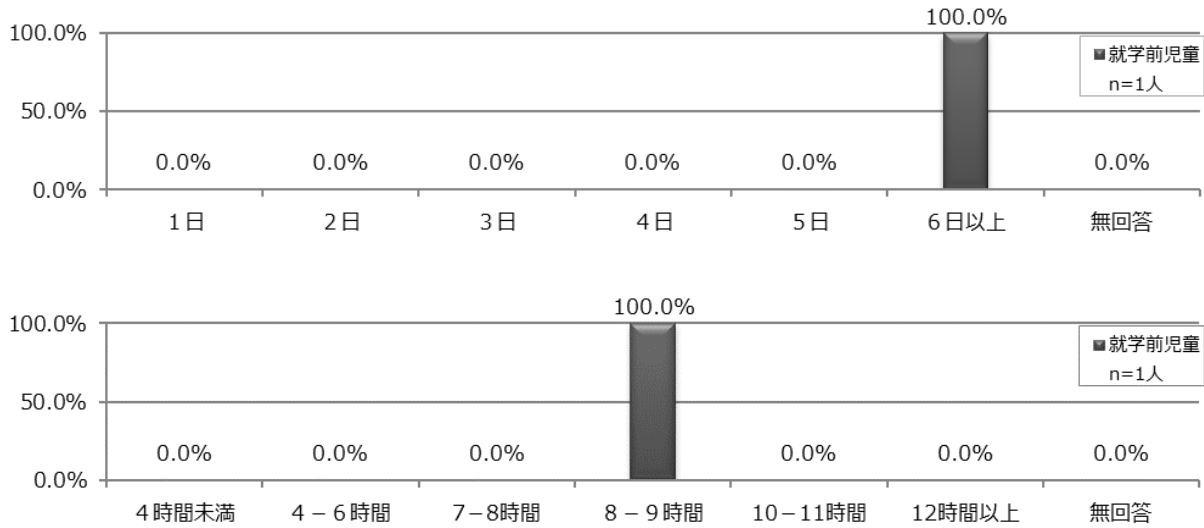
就学前児童の就労していない父親に対して今後の就労希望をみると、就労したい方が 76.9%となっており、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（61.5%）、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」（15.4%）、希望する就労形態は「フルタイム」（87.5%）、「パートタイム・アルバイト等」（12.5%）であり、就労時期となる子どもの年齢については「4～5歳」（50.0%）、「6～8歳」（50.0%）となっています。

問 14（2） 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の未子の年齢



就学前児童の父親の希望する就労日数と就労時間をみると、回答者は1人と少数となっています。就学前児童では、就労日数「6日以上」の回答、就労時間「8-9時間」と答えています。

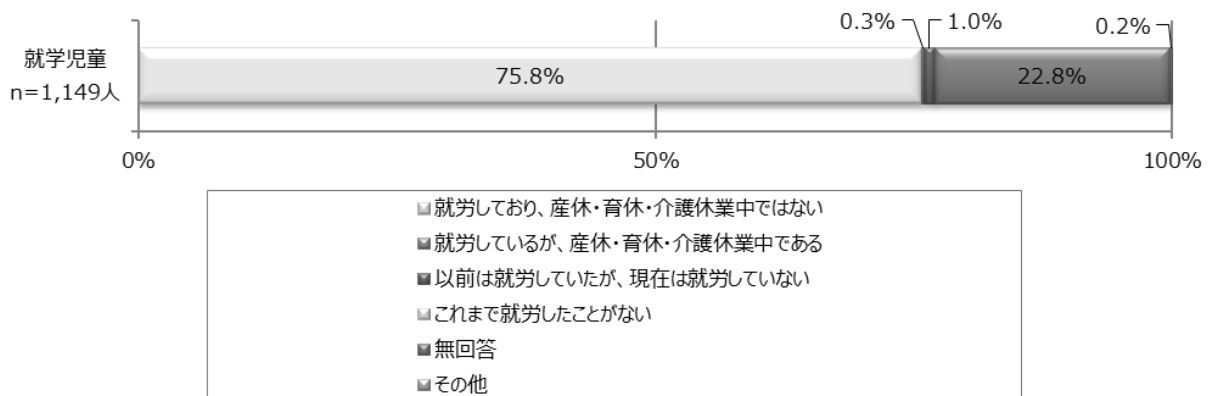
問14(2) 父親の希望就労日数(1週当たり)と希望就労時間(1日当たり)



2. 就学児童の父親の就労状況

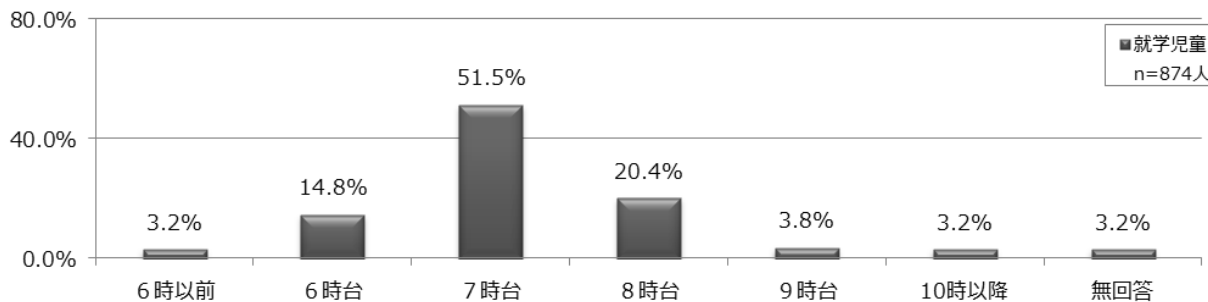
就学児童の父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(75.8%)が最も多くなっています。

問12(2) 父親の就労状況

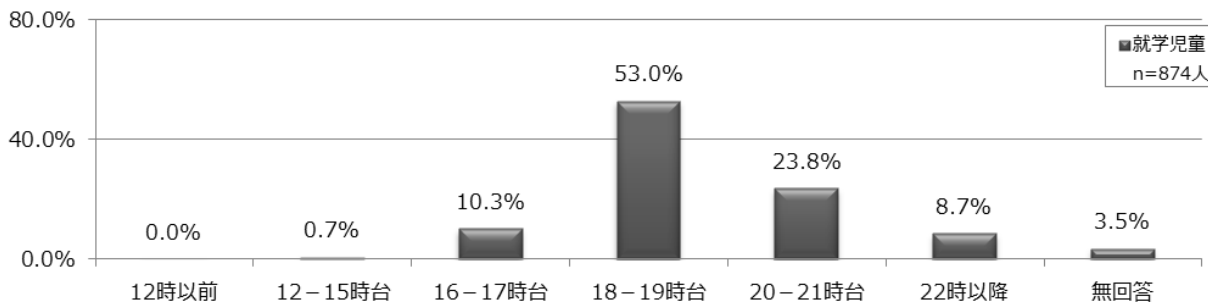


就学児童の父親の出勤時間は、「7時台」（51.5%）、「8時台」（20.4%）、「6時台」（14.8%）の順になっています。
 また帰宅時間は、「18-19時台」（53.0%）、「20-21時台」（23.8%）の順、22時以降の帰宅は8.7%になっています。

問12(2)-1 父親の出勤時間



問12(2)-1 父親の帰宅時間



就学児童の就労していない父親に対して今後の就労希望をみると、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」（81.8%）が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい」（18.2%）、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」の回答はありませんでした。

問12-1(2) 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢

